



ふねあいのひろば

第37号



「岡山市・洛陽市友好都市締結40周年記念」 市長オンライン対談他関連事業

ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、平素より当協議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

2020年1月に日本国内で初めての感染者が確認されて以来、感染拡大と鎮静化を繰り返す新型コロナウイルスが、海外はもとより国内の人の移動にも甚大な影響を及ぼしています。国際友好交流都市との交流も直接の対面がかなわない状態を余儀なくされるなか、ウェブ会議サービスを活用するなど、交流の灯を絶やさないように努めているところです。

さて、洛陽市との友好都市締結40周年を迎えた昨年は、3月の岡山市・洛陽市の両市長によるオンライン対談を皮切りに、締結日の4月6日には岡山市の長泉寺と洛陽市の歴史ある白馬寺をオンラインで結び友好の鐘を鳴らす記念行事が、岡山市日中友好協会主催で開催されました。そして、半田山植物園では、胡弓の調べを聞きながら洛陽牡丹を愛でる観賞会も開催し、洛陽市への思いをはせることができました。

また、いずれもオンラインでの実施となりましたが、富川市とはそれぞれの都市の取組みを学ぶ懇談会や大学生同士による交流を行い、新竹市とは両市長が対談し交流を深めました。

さらに、子どもたちの国際理解を促進する事業として、昨年に引き続き、サンノゼ市、プロヴディフ市、洛陽市、富川市、新竹市、グアム準州の6つの都市・地域の中高生と岡山市の48名の中高生がオンラインで交流しました。交流に向けて紹介動画を作成し、踊りを練習するなどお互いが工夫を重ね、迎えた交流当日は、子どもたちの笑顔が絶えない楽しい時間になったと思います。

新型コロナウイルスの影響により、岡山市で暮らす外国人市民の数は漸減傾向ですが、ワクチン接種などこまめな情報提供に努めるとともに、日常生活で役立つ知識を楽しみながら学べる「くらしの教室」を、感染症対策を講じながら2回開催するなど、多文化共生のまちづくり推進に取り組んでいます。

今年はプロヴディフ市と姉妹都市縁組50周年、富川市と友好交流協定締結20周年と記念の年を迎えます。ワクチン接種が進んだとはいえ、新型コロナウイルスの収束を見通すことは難しいところではありますが、引き続き、感染防止を図りながら、国際交流・多文化共生の推進に努めてまいりますので、今後とも皆様方の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



会長 松田 久

岡山市・洛陽市友好都市締結40周年記念事業

●市長オンライン対談（令和3年3月22日）

岡山市と洛陽市との友好都市締結40周年を記念する事業の幕開けとして、大森雅夫岡山市長は洛陽市の劉宛康（りゅう えんこう）市長とオンラインで対談し、40年にわたり友情を育んでこられたのは先人の熱意のたまものであり、日中両国が友好関係を続けるためにも、地方レベルの交流が重要であり、一層の相互理解を深めていくことが大事だと呼びかけました。

劉市長は、令和2年にマスクを贈り合ったことに触れ、両市の友情はより一層強固なものとなっている。洛陽市と岡山市は真の友であり、今後も交流を発展させようと述べました。

市日中友好協会の土井章弘会長も同席され、「洛陽市の美しいボタンのように友好の花を咲かせ続けたい」と訴えました。



オンライン対談の様子

●雲上に響け!日中友好の鐘の音（4月6日）

岡山市と洛陽市が友好都市を締結した4月6日に、岡山市日中友好協会の主催により、岡山市の長泉寺と洛陽市の白馬寺をオンラインで結ぶ「雲上に響け!日中友好の鐘の音」



洛陽市の様子



岡山市の様子

が開催されました。岡山市からも那須正巳副市長が参加し、官民一体となって両市の交流の機運を高めました。

●洛陽牡丹文化節開幕式へのビデオメッセージ（4月10日）

第39回洛陽牡丹文化節の開催にあたり、大森雅夫岡山市長から祝福のビデオメッセージを贈りました。友好都市締結40周年を記念した洛陽市への訪問団の派遣がコロナ禍で実現できない中、岡山市長の挨拶映像が、洛陽牡丹文化節の開幕式にて放送されました。



第39回洛陽牡丹文化節開幕式映像



洛陽市応天門での開幕式市長挨拶シーン

●岡山に咲く洛陽牡丹観賞会 岡山市洛陽市友好交流展示会（4月17日）

岡山市洛陽市友好都市締結40周年を記念して、岡山市半田山植物園内で開催しました。多くの市民が来場し、観賞会では洛陽市から寄贈された満開の洛陽牡丹の花を観賞するほか、日中伝統の音楽演奏を行いました。展示会では40年間の交流写真や洛陽市出身の作家が作った中国伝統の切り絵も展示しました。



岡山に咲く洛陽牡丹観賞会の様子



岡山市洛陽市友好交流展示会の様子